

本年度の重点	1	学力の定着・学習意欲の向上を図る
目標（評価規準）	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりが主体的に活動し、自己肯定感をもてる授業実践を行う。 ○生徒一人ひとりが「基礎基本の定着」が実感できる授業づくりを推進する。 ○家庭学習の定着に向けて具体的な取り組みと意欲向上のための取り組みを全職員共通理解のもと進める。 ○教員一人ひとりが、授業を工夫して行い、授業力のアップを目指す。 	
重点に係る現状 設定理由	<ul style="list-style-type: none"> ○授業力・教師力を向上させることで、生徒が主体的に活動し、自己肯定感を実感できる授業づくりを行うことで、更に学習意欲を向上させる。 ○生徒の家庭学習に対する、意識や取り組みには課題があり、全職員共通理解のもと、工夫して進めていく必要がある。 	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<ul style="list-style-type: none"> ○「生徒は授業に前向きに参加している」という設問には、90%が肯定的な回答をしている。 ○「生徒に基礎基本的な学力を育むことが出来ている」という設問には、74%が肯定的な回答をしている。 ○「家庭学習の習慣がついている」という設問には、今年度も評価が低く、教員の意識や具体的な取り組みを含め、改善の必要がある。 ○「指導方法の改善、教材の工夫」という設問には、94%が肯定的な回答をしている。
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ○「授業がわかりやすい、教え方が工夫されている」という設問には、生徒の77%が肯定的な回答をしているが、保護者の肯定的回答は、43%と高くなかった。 ○「基礎学力が身についているか」という設問には、生徒の66%、保護者の53%が肯定的な回答であった。 ○「家庭学習の習慣が身についているか」の設問には、生徒の45%、保護者の43%の肯定的な回答であった。 ○「授業がわかりやすいよう教え方を工夫している」という設問には、生徒の77%、保護者の43%が肯定的な回答であった。
自己評価結果 (見解と改善方策)	<ul style="list-style-type: none"> ○「わかりやすい授業」については、肯定的な回答、生徒の77%に対し保護者43%と差があった。保護者の10%以上がわからないと回答しており、学校での取り組みが保護者へ浸透していない。情報発信に努め、改善を進めていきたい。 ○「基礎学力の定着」についても、教員・生徒・保護者間で多少の差異があった。引き続き、校内研究と合わせ、授業方法・授業改善に取り組んでいきたい。 ○「家庭学習の定着」については、教員・生徒・保護者ともに評価は低く、引き続き情報発信を継続しながら、工夫した取り組みを進めて行く。 ○「夏休み中やテスト前の学習会への参加」については、保護者の82%が参加させたいと回答しており、今後も内容や実施方法を工夫しながら継続して行きたい。
学校関係者評価結果	○新型コロナウイルスによる、学校臨時休校により未実施
最終改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○次年度も校内研究をより充実させ、「生徒が主体的に活動し、自己肯定感を持てる授業実践となるよう取り組んで行く。 ○家庭学習の習慣化については、今年度も評価が低く長年の課題である。基礎基本の定着に向けた具体的な方策をとり、家庭とも連携し工夫した取り組みを進めて行く。 ○保護者が来校する際や通信などで、今まで以上に、授業における取り組み状況や効果的な指導について、情報発信し周知することで保護者への理解を求めつつ協力して頂けるようにしていく。

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	2	「生きる力」「豊かな心」を育成する指導の充実
目標（評価規準）		<p>○生徒の生きる力、豊かな心を育て、その成果として、生徒が主体的に生活していく姿勢をもたせる。</p> <p>○生徒一人ひとりに居場所があり、仲間と協力して落ち着いた日常生活を送ることが出来る。</p> <p>○いじめ防止委員会、適応サポート委員会を通して、問題の未然防止、早期発見・早期対応・早期解決を図り、生徒一人ひとりが大切にされていると実感できる学校づくりを進める。</p>
重点に係る現状 設定理由		<p>○生徒一人ひとりに居場所があり、日常生活だけでなく、行事・部活動に充実した生活を送れるよう学校環境を更に整えていく。</p> <p>○いじめ防止委員会、適応サポート委員会を適切に機能させ活動を充実させる。</p>

評価資料	評価
教職員アンケート結果 （具体的方策ごと）	<p>○「生徒は楽しく充実した学校生活を送っている」という設問には、95%が肯定的な回答をしている。</p> <p>○「生徒にとって学校は、安全安心な場所だと思う」という設問には、89%が肯定的な回答をしている。</p> <p>○「いじめや嫌がらせの防止や対応に取り組んでいる」という設問に94%が肯定的な回答をしている。</p> <p>○「人を思いやることの大切さ、社会的ルールが身につけられるよう指導している」という設問には、100%が肯定的な回答をしている。</p>
各アンケート等の結果	<p>○「楽しく充実した生活を送っている」という設問には、生徒87%、保護者84%が肯定的回答をしている。</p> <p>○「学校は、安全安心な場所だと思う」という設問には、生徒74%、保護者77%が肯定的回答をしている。</p> <p>○「いじめや嫌がらせに生徒とともに取り組んでいる」という設問には、生徒80%、保護者61%が肯定的回答であり、多少の差があった。保護者の回答に「わからない」が10%あった。</p> <p>○「何でも相談できる先生や友達がいるか」という設問には、生徒89%、保護者83%が肯定的回答をしている。</p>
自己評価結果 （見解と改善方策）	<p>○「楽しく充実した学校生活を送っている」「学校は安全安心な場所」については、教員・生徒・保護者とも高い評価であり、今後も一人ひとりに居場所があり、生徒にとって楽しく充実した環境を継続していきたい。</p> <p>○スクールカウンセラーの活動の定着と成果については、生徒の肯定的回答39%と保護者のわからないという回答が48%あり、活動の認知度はあまり高くない。カウンセラーによる特別授業やPTAでの活動などにより効果をあげたい。</p> <p>○「いじめや嫌がらせの防止や対応」については、教員・生徒には高い評価だったものの、保護者には、その取り組みや実践が認知されていない。通信などを利用し周知し理解を求めたい。</p> <p>○「相談できる先生や友達がいる」については、生徒・保護者とも高い評価であり、生徒にとって、自分の居場所があると感じられる環境を今後も継続し、更に、安全・安心・安定した学校づくりを進めていきたい。</p>
学校関係者評価結果	○新型コロナウイルスによる学校臨時休校により未実施
最終改善方策	<p>○「思いやりのこころ・楽しく充実した学校生活・規則を守る」などは、学校教育目標の達成のための基本であり、高い評価を得ているが、更に、工夫した取り組みを進め、「生きる力」「豊かな心」の育成に継続して取り組んで行く。特に生活の基本となる、挨拶を含めた礼儀について日常的な取り組みを進めて行く。</p> <p>○いじめの原因となる、SNSによるトラブルについては、外部からの講演会等を実施し、生徒だけでなく、保護者にも理解を求めていく。</p>

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	3	家庭・地域とのベクトルを合わせるための連携の推進と発展
目標（評価規準）	<p>○PTA活動、地区懇談会、学校公開などを通して家庭・地域との連携を更に進める。</p> <p>○学校の教育活動が家庭・地域に理解されるよう、市民センターへの学校だよりの掲示の継続など情報発信に努める。</p> <p>○小学校と引き続き連携し、相互に授業参観・授業研究を行い一小一中の良さを生かした連携を発展させていく。</p>	
重点に係る現状 設定理由	<p>○地域に開かれた学校のため、土曜参観なども継続して実施し、又、地域行事へも生徒・職員を積極的に派遣していく。</p> <p>○学校だより等、更に内容を充実させ、地域の学校に対する理解を深めていく。</p> <p>○一小一中の良さを生かし、小中の連携を更に充実させ深めていく。</p>	

評価資料	評 価
教職員アンケート結果 （具体的方策ごと）	<p>○「学校だよりなどを通して学校の様子が保護者・地域に伝わっている」という設問には84%が肯定的回答をしている。</p> <p>○「学校は、保護者が足を運びやすい学校になっている」という設問には、74%が肯定的回答をしている。</p> <p>○「学校は小学校と連携をよく行っている」という設問には、69%肯定的な回答をしている。</p> <p>○「学校は、地域行事に貢献していると思う」という設問には、79%が肯定的回答をしている。</p>
各アンケート等の結果	<p>○「学校の様子が保護者・地域に伝わっている」という設問には、保護者の76%が肯定的回答をしている。</p> <p>○「学校は、保護者が足を運びやすい学校になっている」という設問には、68%が肯定的回答をしている。</p> <p>○「地域は、学校に対して、連携・協力をしている」という設問には、69%が肯定的回答をしている。また、わからないという回答が17%あった。</p> <p>○「学校は、地域行事に貢献していると思う」という設問には、58%が肯定的回答をしている。また、わからないという回答が14%あった。</p>
自己評価結果 （見解と改善方策）	<p>○「学校の様子が伝わる」については、例年同様高い評価であった。引き続き、学校だよりや通信を工夫し、情報発信に努めていく。</p> <p>○「保護者が足を運びやすい学校」については、昨年より若干、肯定的な回答が低かった。土曜参観・体育祭・文化祭などの行事には多くの保護者や地域の方が来校しているが、より内容を充実させ、学校の状況を見て頂く貴重な機会として捉えたい。</p> <p>○「小学校との連携や地域行事への貢献」については、例年通りの評価であった。本校の大きな強みである、保護者・地域との連携については、今後も積極的に行き、地域とともに子どもを育てるという意識で目標の達成に近づけたい。また、小学校との連携を更にすすめるために、交流授業・研修会への相互参加・職員間親睦を更に進め、一小一中の利点を生かしたい。</p>
学校関係者評価結果	○新型コロナウイルスによる学校臨時休業により未実施
最終改善方策	<p>○「学校の様子が伝わる」ことについては、引き続き、通信やたよりを市民センターに掲示をお願いし、なるべくリアルタイムの情報発信に努めていきたい。</p> <p>○「保護者が学校へ足を運びやすい」や「地域連携」については、保護者・地域の理解、協力は本校の大きな強みであり、支えられていることを実感する。今後も、保護者の来校機会、地域行事などを利用し、連携を強固なものにしていくよう積極的に取り組んで行き。</p> <p>○「小学校との連携」については、一小一中の特徴を生かしつつ取り組みを継続、発展させ、9年間を見通した成長を見守っていく。</p>